

シンポジウム 天草と橋

基調講演 天草と橋



熊本大学名誉教授 工学博士
崎元 達郎

天草五橋 架橋の主な経緯 (1/3)

- 1936 (昭和11) 年12月
: 森慈秀議員が県議会で三角一大矢野架橋を提案
- 1941 ~ 1945 太平洋戦争
- 1953年 ~ 森国久龍ヶ岳町長、森慈秀大矢野町長、
蓮田敬介県議天草架橋のために奔走
- 1953 (昭和28) 年 6月
: 森国久 全国離島振興協議会初代副会長に選任
- 同 年 7月 離島振興法成立
- 同 年10月
: 天草全域が離島振興対策地域に指定される
国久、園田直代議員、吉田代議員、深水政務次官

天草五橋 架橋の主な経緯（2/3）

- 1954（昭和29）年12月：天草架橋期成会発足
会長：櫻井知事
副会長：金子本渡市長、森競町村会長、森慈秀 他
市町村代表：金子本渡市長、高橋牛深市長、森国久 他
- 1955（昭和30）年 3月：一円献金運動の開始
- 1956（昭和31）年 7月：天草振興協議会結成
会長 森国久
- 同 年 7月：雲仙天草国立公園指定
- 同 年11月：道路公団本格調査開始

天草五橋 架橋の主な経緯 (3/3)

- 1958 (昭和33) 年 4月 : 岸公団総裁、
根本建設大臣 現地視察
- 1960 (昭和35) 年 1月 : 公団天草架橋計画を発表
- 1961 (昭和36) 年 2月 : 本渡瀬戸運河完成
- 同 年 5月 : 起工式打ち合せ上京
寺本知事、蓮田県議、森国久、森慈秀
- 同 年 6月 : 森国久 病死
- 1962 (昭和37) 年 7月 : 起工式
- 1966 (昭和41) 年 9月 : 開通式 (有料道路)
- 1972 (昭和47) 年 9月 : 樋島大橋完成
- 1975 (昭和50) 年 8月 : 償還完了無料開放

・天草五橋の橋としての特徴

1. 天門橋 (てんもんきょう)

所在地：宇城市三角～上天草市

アクセス：国道57号線の宇城市三角から
国道266号線

(通称天草パールライン)で、
上天草市の大矢野島に渡る橋

形式：鋼3径間連続トラス

橋長(径間)：502m (100 + 300 + 100m)

幅員：6.5m

完成年：1966(昭和41)年

特長：天草5橋の1号橋 完成時、**世界最長**



写真：www.de-con.co.jp, www.yado.co.jp

・天草五橋の橋としての特徴

2.大矢野橋（おおやのきょう）

所在地：上天草市大矢野町～松島町

アクセス：天草パールラインの大矢野
島と永浦島を結ぶ橋

形式：鋼ランガートラス桁橋

橋長（径間）：249.1m（156.0m）

幅員：6.5m

完成年：1966（昭和41）年

特長：建設当時この形式で、**東洋一**、
大矢野側に広場があり、
天草5橋を提案し、建設に尽力
した森 慈秀氏の銅像が建つ。



写真：www-yado.co.jp

・天草五橋の橋としての特徴

3. 中の橋 (なかのはし)

所在地：上天草市

アクセス：天草パールラインで、永浦島と大池島を結ぶ

形式：3径間連続プレストレス・コンクリートラーメン橋

橋長（径間）：361m（最大160m）

幅員：6.5m

完成年：1966（昭和41）年

特長：この形式で支間160mは、**東洋一（世界2位）**

ヤジロベエ工法による

中の橋 (3号橋)



写真：www.seacruise.jp

・天草五橋の橋としての特徴

4. 前島橋 (まえじまはし)

所在地：上天草市松島町

アクセス：天草パールラインが大池島と前島を結ぶ橋

形式：5径間連続プレストレスト・コンクリートラーメン橋

橋長（径間）：520m（最大146m）

幅員：6.5m

完成年：1966（昭和41）年

特長：ヤジロベエ工法に

よる5橋の中で

もっとも長い

支間146mは

世界第4位

